

日ごろより本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

2月4日の第2回学校評議員会(兼学校関係者評価委員会)で今年度の学校経営について学校評議員の方々よりいただいた意見と合わせて、昨年実施した「今年度の学校経営に関するアンケート」の結果について報告いたします。また、いただいたご意見につきまして、現段階の回答について記載いたしました。ご一読いただき、ご意見等ありましたら、担任、または教頭までご連絡いただきますようお願いいたします。

## 1、第2回学校評議員会(兼学校関係者評価委員)より

今年度の学校経営と協議題「児童生徒が地域社会の一員としてより主体的な生活を送るために～卒業後の生活を見据えた学校の役割～」をもとに、ご意見をいただきました。以下、主な内容についてご報告します。

### (1) 福祉避難所と総合防災訓練について

- ・本校の体育館が、一般避難所となっている町内会は3つある。特に、洪水のときの避難所はどうなるのかというシミュレーションをやってみたが、スペース的に足りないのではないかと見通しである。避難所間の振り分けが今後の課題である。
- ・避難所開設の手続き等についても、鶴岡市を中心に、本校が避難所となっている町内会の方々と話し合う場を設けていただくよう動いていただいている。そのときに、総合防災訓練を共に行うことも含めて話し合っていければと思う。

### (2) 交流活動について(居住地交流活動、サマースクールなど)

- ・地域の施設を利用しているのは、いざというときに避難するためには大切なことである。大塚町でも、毎年7月に、大塚町の公園でよさこいフェス(土日開催)を行っているので参加してはどうか。見に来るだけでもよいのではないか。
- ・保護者同士では話しにくい部分もある。各ご家庭の配慮事項について、教員が入って話し合った方が解決できることもあると思う。親も楽しめるような活動を考えたらもっと気軽にできるのではないか。中学生への声かけも大切なのではないか。
- ・中学生がボランティアに興味をもって、ボランティア活動をしている学校もある(鶴二中)。YYボランティアなどで、あおば学園として協力している。障害児・者理解へつながるように、中学生と高校生への声かけを続けていくのが大切である。まずは、こういう人がいるのだということを知ってもらうことが大切なことだと思う。

### (3) 卒業後の進路について

- ・福祉事業所の事業運営については、工賃を増やしていかないと国から補助金を受けられない仕組みになっているのが現状である。
- ・事業を続けていくのが困難な状況になっている。職員に対する処遇も出せない状況にもなっているなか、実際のところ、定員を増やすというのは難しい状況のところもある。
- ・そういった事業所の事情も含め、見通しをもって早期に動いていくことが大切になる。保護者の方にとともに、進めていきたい。

## 2 学校経営への評価 ～アンケート結果より～

### (1) 保護者の皆様の結果

昨年度の 86.4%の回収率より大幅にあがり、99%の回収率となりました。寄宿舎のアンケートにつきましては、100%の回収を行うことができました。お忙しい中、回答いただき感謝いたします。連絡帳や送迎時の引継ぎのときの担任の対応について、うれしいお言葉をたくさんいただきました。何より、子どもたちが、楽しく学校に行きたいと思ってくれる姿、そして、できることや良さをのびのび伸ばしながら過ごしている姿を保護者の方とも共有できる学校であることが大切なのだと感じております。お言葉の一つ一つを今後の励みとし、教職員一丸となってよりよい学校運営に努めてまいります。

①居住地交流の在り方とねらいについて ②学校に来る機会が多いことと PTA 役員選出の仕方について ③学部を超えて交流する機会の減少 ④校舎の老朽化への対応 ⑤指導・支援等について、ご意見いただきましたことも感謝申し上げます。これらの内容については、学校として以下のように周知を図り、改善に努めて参ります。貴重なご意見を賜りまして感謝いたします。今後一層、子どもたちにとってより良い学校となるよう努めて参ります。

	ご意見	回答
1	施設の老朽化(雨漏りなど)が激しいところが見られるが修繕の予定はありますか。	→県に要望は出していますが、残念ながら来年度も予算は配当なりませんでした。引き続き、要望を出していくとともに、事務局と相談しながら、学校としてできる対策をとって参ります。
2	感染症に対して、クラス内で誰か罹患したら教えてほしい。	→個人情報が含まれるため、学校から一律に発信していくことは難しいところがあること、ご理解いただけたらと思います。今後とも、風邪症状が見られた際の早めの受診について、ご家庭のご協力をいただきながら、感染拡大防止に努めていきたいと考えています。
3	居住地交流について。学校内で同じ学区の方々との交流で終わっているように思う。	→よりよい居住地交流の在り方について、ねらいの確認とともに、保護者の皆様のお考えを伺うアンケートを実施させていただきました。ご意見をもとに、検討を行いたいと思います。
4	様々な会議や行事、行事の説明会等の日程や時間ですが、休むのであれば、1日にしてもらったほうがありがたいこともあり、その辺りを考慮してほしい。	→PTA の会議、保護者面談等の時期について、PTA 三役会の皆様のご意見も伺いながら検討しました。令和8年度、変更した日程を受けて再度皆様のご意見を伺い、改善を図りたいと考えています。
5	保護者の面談が長く月があり、希望休のほとんどが学校行事になってしまう。	
6	学校行事等について 例えば、食堂で食べる給食、保護者の給食参観、全校での運動会、入学・卒業式、離任式等	→コロナ禍から、全校での行事の在り方が大きく変わりました。小学部の児童数も増え、食堂で全学部がともに食べること、また、食数の関係から、保護者の皆様の給食参観等実施できず申し訳ありません。PTA 三役会、理事会の皆様と来年度検討させていただきますと考えております。
7	実習終了してから、次の実習地の希望を出す期限が早過ぎる。	→進路面談と実習希望を出す時期について、高等部で検討を行っております。
8	もっと、生活に根差した指導があるとよい。	→学校研究でも取り組んでいるところです。一人ひとりの専門性を高めるとともに、子どもたちの生活との関連を意識した学習内容の設定と指導の工夫を行うよう、研修を設けて組織的に取り組みます。
9	衣服の調節 気温の変化、活動後の本人の状態等に配慮して、調節してほしい。 例 暑い日に、重ね着をしている。寒いのに、薄着で過ごしている。 など	→自分で、調節が難しい=教師がする、にとどまらず、子どもたちの将来を考え、自分で気候や体感に応じた衣服の調節ができるよう継続した指導をするとともに、体調管理には気を付けていくよう、複数の教員で確認しながら指導に当たります。
10	休み中の連絡の取り方 体調が悪くて長期に休んでいるときに、毎日電話がくるのがあった。	→お休みになったとき、どんな様子か知りたいという思いから過度に連絡をとってしまうことがありました。ご負担をおかけしてしまい申し訳ありません。急ぎ、連絡を取らなければならない事項なのか、体調等が落ち着いてから大丈夫な内容なのか、担任だけでなく、主任も交えて検討し、ご連絡するよう教職員で確認しました。 また、電話連絡が可能な時間帯や相手先について、学校と家庭、舎とで共通理解を図っていきたくと考えています。個別の教育支援計画に、確認事項を記入し、毎年度確認させていただきます。ご協力お願いいたします。
11	登校時の引継ぎ、担任に朝伝えたのに、共有されていないと、別の担任からどうなっているのかと問い合わせが来た。情報共有をきちんとしてほしい。	

【アンケート項目と結果(%表記)】昨年度と、評価項目を変更したため、前年度との比較は次年度行います。

【4：そう思う 3：だいたいそう思う 2：あまりそう思わない 1：そうは思わない】

	評価項目	4	3	2	1
1	子どもが、学校に来ることを楽しいと思える学校になっている。	68%	30%	2%	0%
2	子どもの健康が守られ、安心・安全に過ごすことができる学校になっている。	69%	30%	1%	0%
3	子どもの実態や、個性に合った指導・支援、学習が行われており、成長を感じる。	76%	21%	3%	0%
4	学校は、地域社会で生きる子どもたちのために、様々な交流活動の推進に努めている。	65%	32%	2%	1%
5	学校は、子どもの教育や生活のことについて、相談しやすく、適切に対応している。	67%	28%	4%	1%
6	学校は、おたより、ホームページ、学校見学会などを通して、保護者や地域の方に対して情報を発信している。	58%	35%	6%	1%

## (2) 教職員による学校経営に関する自己評価の結果

	評価項目	4	3	2	1
1	本校の教育目標の達成に向け、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援に努めているか。 【教育目標】	51.80%	46.40%	1.80%	0.00%
2	医療的ケア児を含め、児童生徒にとって安心・安全な学校となるよう、児童生徒の健康状態や安全確保に配慮し、適切に対応しているか。【安全管理】	64.30%	35.70%	0.00%	0.00%
3	個々の児童生徒の実態を多面的にとらえることに努め、適切な個別の指導計画の作成・実施を行っているか。 【学習指導】	46.40%	51.80%	1.80%	0.00%
4	自立活動の意義や指導内容を的確に把握し、実態に応じた指導内容や指導方法の工夫・改善に努めているか。 【自立活動】	21.40%	67.90%	10.70%	0.00%
5	児童生徒の興味関心を踏まえながら、教材研究を進め、協働的な学びと個別最適な学びの一体的な充実を目指した日々の授業づくりの工夫をしているか。 【学習指導】	42.90%	53.60%	3.60%	0.00%
6	児童生徒の学びの過程を見取り、授業改善を行うとともに、妥当性・信頼性のある評価を行いながら指導・支援に活かしているか。 【授業改善】【学習評価】	32.10%	67.90%	0.00%	0.00%
7	キャリア教育の視点を持ち、望ましい生活習慣や社会性の育成に向け、一人一人の発達段階を踏まえた指導・支援を行っているか。 【進路指導】【生徒指導】	33.90%	66.10%	0.00%	0.00%
8	ICTを効果的に活用し、児童生徒の学習に活かしたり校務改善等を行ったりしているか。 【ICT活用】	42.90%	51.80%	5.40%	0.00%
9	地域社会の一員として主体的な生活を送ることにつながる、交流及び共同学習等の推進や校外での学習、居住地交流となっているか。 【交流活動】	25.00%	60.70%	12.50%	1.80%
10	学校見学会やホームページ等を活用した情報発信に努め、センター的機能として、地域の学校や保育園、幼稚園への教育相談、および専門性向上研修の実施等、関係機関と連携を図りながらセンター的機能としての役割を行っているか。 【センター的機能】【関係機関との連携】	66.10%	32.10%	1.80%	0.00%
11	校内外の研修に積極的に参加し、教職員として必要な専門性の向上に努めているか。 【専門性向上】	30.40%	67.90%	1.80%	0.00%
12	教育公務員としての自覚を持ち、担当する校内分掌の効果的、効率的な遂行に向け、創意工夫をもって責任を果たそうと努めているか。 【業務遂行】【規範意識】	57.10%	42.90%	0.00%	0.00%
13	保護者からの相談や要望に対し、誠実に対応し、児童生徒や学校運営について情報共有しながら連携を図っているか。 【保護者との連携】	58.90%	39.30%	1.80%	0.00%
14	同僚性を大事にし、教職員間で協力・対話しながら、よりよい職場づくりを行っているか。 【職場環境】	37.50%	58.90%	3.60%	0.00%

(3) 保護者の皆様の寄宿舍運営についてのアンケート結果

	評価項目	4	3	2	1
1	寄宿舍は、健康・安全面について、保護者や学校と連携しながら適切な対応を取っている。(例 感染症対策、登下校時 等)	87.5%	12.5%	0%	0%
2	寄宿舍は、一人一人の生活ニーズを把握し、適切に対応している。	100%	0%	0%	0%
3	寄宿舍は、子どもたちが楽しく安心して過ごせるように、余暇の過ごし方や行事の充実に努めている。	100%	0%	0%	0%
4	寄宿舍は、保護者の思いや願いを聞き、基本的生活習慣の確立のために努めている。	100%	0%	0%	0%

(4) 寄宿舍指導員による寄宿舍運営に関する自己評価の結果 (抜粋)

	評価項目	4	3	2	1
1	本校の教育目標の達成に向け、一人一人の実態に応じた指導・支援に努めているか。 【教育目標】	81.8%	18.2%	0%	0%
2	事故防止の視点に立ち、安心・安全に生活できる環境整備や避難訓練の実施を行うことができたか。 【安全管理】	36.4%	63.6%	0%	0%
3	健康状態や服薬、舎生の生活の様子について、保護者との連携を密にして、健康で安全な生活の実現に努めたか。 【健康管理】	81.8%	18.2%	0%	0%
4	寄宿舍個別の指導計画に基づき、基本的生活習慣の確立や生活技術の習得に向けて、指導・支援を工夫することができたか。 【指導支援】	36.4%	54.5%	9.1%	0%
5	学校、担任、養護教諭などの関係者と、寄宿舍の状況や舎生の様子について積極的に情報交換し、連携を図ることができたか。【情報共有・連携】	54.5%	45.5%	0%	0%
6	余暇時間や行事の充実に図り、明るく楽しい舎生活の実現に努めているか。 【生活指導】	54.5%	45.5%	0%	0%
7	同僚性を大事にし、教職員間で協力・対話しながら、よりよい職場づくりを行っているか。 【職場環境】	45.5%	54.5%	0%	0%
8	教育公務員としての自覚を持ち、担当する校内分掌の効果的、効率的な遂行に向け、創意工夫をもって責任を果たそうと努めているか。 【業務遂行】【規範意識】	72.7%	27.3%	0%	0%